

☆全国学力・学習状況調査より☆

毎年 4 月に全国の小学 6 年生を対象に行われている調査の結果をお伝えします。川岡小学校全体としては、国語科・算数科ともに全国平均・全市平均を上回る結果でした。

国語科、算数科それぞれにおいてしっかりと力がついており、それを活用することもできていることが結果として表れていました。その中で、課題がみられたところについてお知らせします。

【国語科】

○考えとそれを支える理由や事例など、与えられた情報の関係性について理解することができるかどうかについて課題がみられました。

→選択肢をしっかりと読みとり、合わないものを省いていくというような考え方が必要だと考えられます。

○引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられました。

→指定された条件に合わせて、自分の考えをまとめるということについて日々の授業の中でも意識させていきたいと思います。

【算数科】

○単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかについて課題がみられました。

○基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみることに課題がみられました。

→単位量当たりの大きさの学習の際に、元となる数が何に当たるかをより意識させる必要があると考えられます。

○二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみることに課題が見られました。

→二次元の表を読み取ること慣れていないと考えられます。表などから読み取る経験を算数科の授業だけでなく他教科の中でもどんどん組み込んでいきたいと思います。

【児童質問紙より】

○「将来の夢や目標を持っていますか」という項目では、88%の子ども達が肯定的な回答を示していました。また、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。」という項目でも 65%の子どもがとてもよくあると回答しており、全国の値を 10 ポイント以上上回っています。

→本校が目指す自己効力感・自己有用感の向上について、引き続き取り組みを進めていきたいと思います。学校教育目標でもある「うれしい！ わくわく！ だいすき！」がたくさん感じられる時間や体験を大切にしていきたいと思います。

○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさをいかして解決方法を決めていますか。」という項目では、88%の子ども達が肯定的な回答を示しました。これは全国の値よりも 10 ポイント上回っています。

→本校では学級会に取り組み、子ども達が自分たちで話し合いをすすめる活動を行っています。自分の意見を出し合い、比べ合い、折合いをつける場を大切にしています。代表委員会の中でも、よりよい川岡小学校を目指し、話し合い活動に取り組んでいる成果が出ていると考えられます。

